記

信越理研株式会社 様

2011年7月20日 発行日:

不具合管理No. 43F-7-020

協力工場 不良品連絡書

(株) 再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を 餄 提出して下さい。 木

承認 駒津 佐竹 和田 '11.7.20 11.7.20 11.7.20

指定回答日:2011年7月26日

	不良率	_	処 置	返却		
	不良数量	12,000				
	発生日	-		かになりみす。		
	ロットNo	11.06.13.1.1026	11,06,13,1,1	020~1025 12,000個返却 026~1033 については使用済みの為、日圧様 応となります。		
入	品名	CMCS85 TOP SHIELD 3.0MM	めっきが着いていない箇所有り。			
	图 普	CMCS-85T30-191A				

1. 確認内容

不具合サンプル分析、発生現象確認より、めっき前処理不足による未着と 判断致します。加工履歴より加工途中でのプレスロット変更の変化点もあり 製品曲げ部の洗浄しにくい箇所での油の付着量のバラツキ⇒洗浄のバラツキ により発生の有無があるものと判断致します。(別紙 調査資料参照下さい)

返却品の処置(数量明記)

返却後にリール内確認にて 状況より処置決定。

(1020~1025 12000個)

2. 発生原因

当製品は、過去に同様の発生が見られ、加工前に 脱脂での温度、濃度の管理値を事前チェックしての **是** 加工を実施しており、その後の発生がなく、管理面での返却リール内での確認により状況を再確認致します。 変化はありませんでした。めっき前処理、曲げ部への 付着の油のバラツキにより完全に洗浄できない所に ΙE

4. 流出原因

出荷検査サンプルでの異常検出はなく、バラツキのある 発生であったため未検出となっていたことが考えられ

処

協

力

工

場

記

入

3. 発生防止対策

未着発生と判断致します。

めっき前処理の強化と曲げ部に付着の油のバラツキを製出現象の不良見本設定はすでに前回実施しており 押さえることが対策になりますが、めっき工程では アルカリ脱脂、電解脱脂間に追加にて電解脱脂を 行い、脱脂力強化を図り対策を行います。

5. 流出防止対策

追加設定等は実施いたしませんが、発生状況の詳細確認 より具体的な加工中の製品確認頻度を見極め実施し 今後の流出防止をいたします。

実施日:2011.7.25以後の処理で実施

実施日:返却リール検証後に実施

在庫品仕掛品の確認			回答日:2011.7.25			
在庫品	仕掛品	承	認	調査	作成	
7/22時点での在庫無		野	﨑		西村	
A. 対策後 (承	設	調査	確認者	
)ロットにおい て ー)~(なしの為、有効性有りと判断致します。	·				
計()ロットにおいて同不具合なし。最終ロット出荷日()の			/ : A	CQM-10	010-4	

)現在

確 (株) 木

Rev : A

CQM-10010-4